

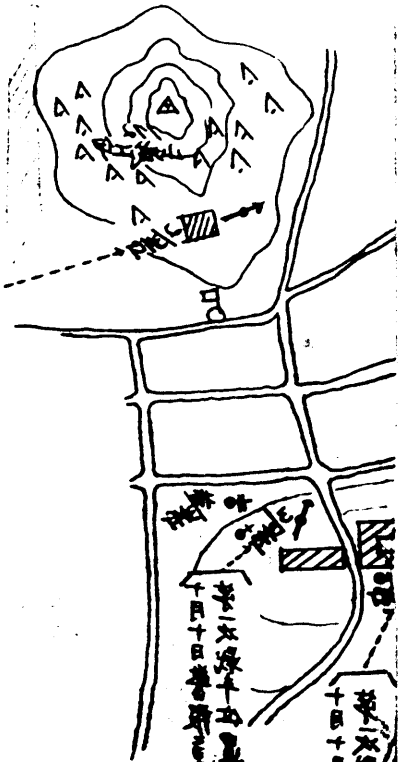
獨立混成第十五聯隊第九中隊

2500

陣中日誌

自昭和十九年十月一日
至昭和十九年十月三日

概圖



第一中隊
十月一日
第二中隊
十月一日
第三中隊
十月一日
第四中隊
十月一日
第五中隊
十月一日
第六中隊
十月一日
第七中隊
十月一日
第八中隊
十月一日
第九中隊
十月一日
第十中隊
十月一日
第十一中隊
十月一日
第十二中隊
十月一日
第十三中隊
十月一日
第十四中隊
十月一日
第十五中隊
十月一日

第一中隊
十月一日
第二中隊
十月一日
第三中隊
十月一日
第四中隊
十月一日
第五中隊
十月一日
第六中隊
十月一日
第七中隊
十月一日
第八中隊
十月一日
第九中隊
十月一日
第十中隊
十月一日
第十一中隊
十月一日
第十二中隊
十月一日
第十三中隊
十月一日
第十四中隊
十月一日
第十五中隊
十月一日

日曜日
伊予島
學校

二飛行場設定作業ニ方リ旅團長ヨリ左ノ訓示アリ
伊予島飛行場設定完了ニ方リ與フル訓示
軍ノ重大決心ニ基ク伊予島飛行場急速設定作業
ハ各師隊長以下ノ兵士決クマシキ奮闘努力ヨリ所
命ノ期日マテニ概ネ之カ完成ヲ見タルハ國軍ノク
大戦力ノ増強ニシテ諸子ノ勞ヲ多トシ且本職ト諸子
ト共ニ國軍ノタメ同慶禁シ得サル處ナリ
此間各師隊長以下旬日有餘ニ亘リ資材又器材ノ不
足ヲ克服シ炎天下克ク刻苦致シ耐ニ眞ニ晝
夜兼行黙々トシテ任務必成ノタメ其ノ精魂ヲ傾倒シ
其ノ目的ヲ達成シタルハ旅團ノ面自躍如タルモアリ
就中本作業實施ニ方リ第九師團ヨリ臨時ニ本職ノ
指揮ニ入ラシメラレタル宮内支隊長以下將兵ハ勝

大ナル作業量ヲ擔當セシメタルニモ不拘支隊長ノ精
 熱セル作業指揮ト計畫的作業部署トニ據リ
 一水一草一石ノ微ニ至ルマテ之ヲ活用シ以テ之カ戦力
 化ニ努メ南西諸島方面ノ基地設定ニ因スル新
 機軸ヲ開キタル創意工夫ト努力ニ對シ深甚ノ謝意
 ヲ表スルトコトナリ惟フニ離島ニ於ケル航空之基地ノ
 設定ハ不沈航空母艦ノ建設比適ニ其成否ノ遲速ハ
 國運ノ隆替ニ関スル重大ナル戰略的價値ヲ有シ之
 カ建設ハ大ナル資材ヲ要スルコトヲ單ニ汗ト努力
 トノ總和ニ歸ス。而シテ今次設定作業ハ國軍ニ於
 ケル臂力ヲ以テスル飛行場急速設定ノ新記録ヲ
 樹立スルモノニシテ實ニ偉ナルモノト言フヘシ
 之ヲ要スルニ揚子ノ旬日ニ至ル努力ノ結果ハ實ニ南

及邊警備機動ノタメ救揚ナル作業遂行ニ支障
 ナカラシメタルモノナリ。重テテ諸子ノ勞ヲ多トス

昭和十九年正月一日

林團長 鈴木少將

三西作命第三荒御島地区隊命令受領ス。伊江島、北島、
 一林團ハ守備計画ヲ別冊ノ通り設定之ヲ實行ス
 聯隊(伊江島地区隊欠)ハ北地区隊トナリ本郡半島
 北半部ノ要地ヲ確保シ特ニ砲兵ヲ掩護シ又伊
 江島ニ對スル海上機動ヲ準備ス
 第二歩兵隊ハ南地区隊トナリ本郡半島南半部
 ヲ確保シ一部ヲ國頭地区隊トシテ名護ニ位置
 セシメ、廣ク海岸ヲ監視スルト共ニ遊撃作戦
 ノ後據トナル

新ニ配屬セラレタル海軍十五名ニ門ヲ以テ伊江島
飛行場使用ヲ不能ナラシム

亦林園砲兵隊ハ伊江島ヲ射撃シ得ル如ク桃園
附近ニ陣地ヲ準備ス

山崎備隊(新ニ配屬セラレシ)獨ニ機關銃一中隊

假編砲兵(中隊)十榴前野砲二門ヲ基幹トス)工

兵一八隊(隊)通信ノ一部ヲカフハ伊江島地帯隊

トナリ在島諸隊ト共ニ伊江島ヲ確保シ飛行隊

ノ活動ヲ容易ナラシムルト共ニ止ムヲ得ケル狀

況ニ至ルモ伊江城山及學校周邊高地ヲ確保シ

敵、飛行場使用ヲ不能ナラシメントス

四第七中隊(小隊長)指揮スル三分隊及ハ主力ヲ以テ

伊江城山北東側山麓ヨリ女山(女山ヲ含マス)ノ間ニ

敵戦力ノ消耗ニ任セシムル如ク準備スルハシ

特ニ該部隊ノ陣地ハ堅固ナラシメ且秘密スル如ク

勉ムヘシ亦一部ヲ伊江城山東北方二百米松林壁

上附近ニ陣地ヲ占領セシメ伊江城山北方凹地ヲ

射撃手ニ得ル如ク準備スルハシ

特ニ墓地ノ高地ニ約一ヶ分隊ヲ派遣シ敵ノ前進

阻止ニ任セシメ敵戦力ノ消耗ヲ圖ルハシ

四第八中隊(一分隊)ハ學校周邊高地ヨリ女山(女

山)含ムニ亘ル間ニ堅固ニ陣地ヲ占領スルト共ニ前

落戰鬪ヲ準備スルハシ

特ニ第九中隊トノ相互支援ノ間ニ所要ノ處置ヲ

講スヘシ又山々部落ニ將校ヲ指揮スル半小隊ヲ派遣シ

敵ノ上陸ニ際シテハ隊ノ準備セルカソリニ戦法並ニ側

射ニヨリ敵ヲ水際ニ撃滅スヘシ。陣地ハ堅固ニシ且
秘匿ニ勉ムヘシ。又一部ノ監視部隊ヲ飯場東方
松林高地附近ニ派遣スル如ク準備スヘシ。

西第九中隊(羊小隊)大獨之機關銃一小隊ヲ配屬シ、ハ伊
江城山北西側ヨリ西江上飛行場道(道路ヲ含メス)
ニ亘ル間ニ堅固ニ陣地ヲ占領スヘシ。

特ニ一部ヲ以テ伊江城山西北側及北側凹地ヲ射撃シ
得ル如ク、又第八中隊ト、相互支援ニ関シ準備スル
モノトス。又西江上射落北端陣地ノ翼ヲ強化スル
如ク勉ムルト共ニ射落戦闘ニ関シ準備シアルヘシ。

大大隊機關中隊(一分隊欠)ハ記念碑高地及大井戸
上高地女山附近ニ堅固ニ陣地ヲ占領シ、主トシテ
第八中隊狀況ニ依リ第七中隊正西ノ戦闘ニ協同スヘシ。

隊獲生小隊(一分隊欠)ノ指揮ニ入ラシムヘシ。
心隊隊員小隊(一分隊)ヲ以テ西江上第九中隊陣地内ニ
陣地ヲ占領シ、飛行場伊江城山北側ヲ射撃シ得ル如
ク準備スルト共ニ一分隊ハ伊江城山東北側(隊備陣
地ハ伊江城山西南側山麓)附近ニ陣地ヲ占領シ、飛行
場及第九中隊陣地前ヲ射撃シ得ル如ク準備スヘシ。

ハ獨立機關銃中隊(一小隊欠)ハ一小隊ヲ以テ西江上射落
西端ヨリ伊江城山東南側斜面ニ亘ル間ニ陣地ヲ占領シ
第七中隊陣地前ヲ射撃シ得ル如ク主力ヲ以テ第七中
隊左小隊及第九中隊右小隊内ニ陣地ヲ構築、兩中隊
陣地前ニ交撃セル敵ヲ斜射射撃ヲ以テ陣地前ニ撃滅
シ得ル如ク準備スヘシ。

特ニ一分隊ヲ伊江城山東方海岸道橋梁附近ニ他、一

分隊ヲ以テ第九中隊右小隊ノ前方百米松林高地附近ニ編角陣地ヲ構築シ主トシテ初江城山北方四地及第九中隊正面ヲ射撃シ得ル如ク準備スハシ細部ハ現地ニ於テ指示ス

九獨王速射砲中隊ハ主力ヲ以テ初江城山西側山麓ヨリ西江上不正十字路ニ面ル陣地ヲ占領シ第九中隊正面ニ突撃スル戰車ヲ斜射射撃シ得ル如ク一部ヲ以テ初江城山東側斜面ニ陣地構築第九中隊方向ヨリ第七中隊正面ニ前進スル戰車ヲ側射シ得ル如ク準備スハシ特ニ各陣地ハ堅固ニ構築シ且秘匿ニ勉ムハシ

砲兵中隊ハ野砲一門ヲ初江城山南側附近ニ一門ヲ記念碑山附近ニ兼備陣地ハ初江城山南側附近ニ又十橋門ハ北側附近ニ各々陣地ヲ堅固ニ且秘匿ニシテ占領

シニ各小隊ハ初江城山西側戰部ニ位置シ並カテ初江城山周邊ノ障礙物設置ニ任ストルト共ニ對戰車戰隊ノ準備ニ任スハシ燈臺及山々部附近ノ水際障礙物及小型機雷ノ設置ニ任シテハ之カ掃打等任スルモノトス

交通任務ハ左記ノ如ク開設ヲ準備スハシ
無線分隊ハ地區隊戰術指揮所ノ砲兵中隊及第八中隊間ノ通信ヲ準備有線分隊ハ地區隊戰術指揮所ト砲兵中隊及第九中隊間ノ大體ノ用法ニ度シテ

ハ別命ス
三日所度給水車ハ取敢ストラム糧ニ依ル水ノ補給ヲ各隊陣地ニ對シ準備スハシ細部ニ關シテハ別命ス

而前項以外ノ衛生給與等ノ擔任者ハ現任者ヲ續行スハシ又丹波口軍醫ハ學校及後場衣附近ニ直ニ救護

シ

所ヲ開設シ得ル如ク準備スルトモ女子救護
班ノ教育ヲ續行スヘシ

四 伏生中尉ハ部下小隊大隊機關銃一分隊附ス
ハ大隊直轄トシテ燈臺附近ニ堅固ナル陣地ヲ構
築シ敵上陸ニ先チテガソリニ戦法ト側射トヲ併
用シ敵ヲ水際ニ於テ撃滅スヘシ

隊メ水際障礙物ヲ設置シ隙ニテハ工兵小隊長ヲ指
導シ度々準備ヲ置クモノトス

五 豫備隊(第七中隊、小隊長ヲ指揮スルニテ分隊及
第八中隊ノ一ヶ分隊トス)ハ伊江城山南側斜面ニ位
置ニテ堅固ナル陣地ヲ構築スヘシ

六 細部ニ関シテハ別命ス
七 一般中隊及機關銃中隊ハ各一川隊宛テ野砲射撃予
又上兵小隊ハ挺身奇襲ノ動作ヲ併セ訓練スヘシ
八 一般陣地構築ハ徹底ニテ實施シ特ニ壕溝掩蔽
竈ハ少クモ四十尺以上ノ土層ヲアラシムル如ク實施
スルト共ニ之ニ關聯スル監視壕モ併セ構築スヘシ
九 防衛隊青年其他官民ノ軍事教育並ニ使用ニ
關シテハ別命ス

三 予ハ本郡山戰團指揮所ニアリ
伊江島地區隊長 西村 大尉

下達並各隊長ヲ果シテ要旨ヲ傳ヘ後印刷支付
配布此本郡各隊及配屬各隊

四 午後ハ武器被服ノ手入ヲ了ス

五 本日ノ人員左ノ如シ

區分	將校	准士官	下士官	兵	計
----	----	-----	-----	---	---

十月二日
月曜日晴
伊江島國民
學校

人員 四 一 一 八 一 〇 四 一 二 六

一 午前中ハ下士官以下武器被服ノ手入ヲ實施セリ

二 新陣地構築ニ関シ終日ニ亘リ大隊長統裁ノ下ニ特

校全員現地身研究ノタメ出張セリ

三 午後ハ下士官以下ハ休務セリ

四 朝ニテ帶口糧乙ノ運新ヲ行フ

五 伊西日命第七號伊江島地區隊命令受領ス伊江島國民學校

伊江島地區隊命令

ハ各隊ハ十月四日午前中ニ兵器検査ヲ實施シ其ノ

結果ヲ同日ニ四〇連大隊長ニ報告スヘシ

ハ十月五日ハヨリ隊隊ノ兵器検査セラル

起床日朝兵時 〇六〇〇

朝 食 〇七〇〇

診 断 〇八〇〇

晝 食 一〇〇〇

會 報 一七〇〇

夕 食 一八〇〇

日夕兵呼 二〇三〇

消 燈 二一〇〇

四 衛兵交代ハ明日ヨリ當分ノ間ハハントス

六 本日ノ人員左ノ如シ

人員	區分	將校	准士官	下士官	兵	計
四	一	一	八	一〇	四	一七

十月三日
火曜日晴
伊豆國氏
學校

一〇八〇ヨリ兵器ノ手入ヲナシ明日午前中ニ實施スル
中隊兵器検査ノ諸準備ヲナス

二〇八〇内務衛兵トシテ安島軍曹以下二名服務ス

三 中隊長ハ終日自己擔任區域ノ陣地偵察ヲナス

四 一三〇〇ヨリ約一時間ニ亘リ水野谷少尉指導ノ下ニ

應用体操ヲ實施ス

五 夕食後大隊長室ニ於テ中隊長會同實施ナルル

ニ付中隊長令席ス

六 鶏二羽ヲ糧甲ノ更新ヲナス

七 本日ノ人員左ノ如シ

區分	將校	准士官	下士官	兵	計
人員	四	一	一八	一〇四	一二七

十月四日
水曜日雨
伊豆國氏
學校

一〇九〇ヨリ中隊ノ兵器検査ヲ實施シ其ノ結果ヲ大
隊長ニ報告ス

二 一四五枝筈ヲ集合ヲ了シ地區隊長ノ訓示ヲ受ク

三 一五四ヨリ夕刻マテ中隊長陣地偵察ヲナス

四 本日ノ人員左ノ如シ

區分	將校	准士官	下士官	兵	計
人員	四	一	一八	一〇四	一二七

一〇八〇ヨリ中隊長ハ全力ヲ以テ聯隊ノ兵器検査ノ準備
ヲナス

二 一四三〇ヨリ藤本中尉以下検査官トシテ本隊ノ兵器
検査ヲ受檢ス

十月五日
木曜日曇
伊豆國氏
學校



十月六日
金曜日
伊江島
氏家後

一〇七〇〇中隊ハ整列ヲ了シ本日ヨリ新陣地構築ヲテ
スニ方リテ中隊長訓示ヲ行フ
二〇七〇〇地臣隊長ト共ニ中隊長ハ新陣地ヲ細部ニ巡
リ監視ヲ行ハタル後經示ヲテス
三〇八〇〇全員檢校度ニ集合シ長谷川衛生部見習士
官ノ實施セル衛生ニ関スル講話アリ
四陣地構築用材料トシテ左ノ如ク受領ス
一寸板一十枚 五五分板六〇枚 タルキ一五本
五本日ノ人員左ノ如シ

區分	將校	准士官	下士官	兵	計
人員	四	一	一八	一〇四	一二七

四〇八〇〇内務衛兵トシテ鈴木軍曹以下二名服務ス
五伊西日命第六混成隊伊江島地臣隊長命令受領ス伊江島地臣隊長
伊江島地臣隊長命令

一 週 番司令 関井中尉
同 副官 木下曹長
巡察將校 山田少尉
右頭書、通り來週々卷勤務ニ服務スヘシ
六 中 隊 命令
一 週 番士官 陸軍准尉三浦 敬福
同 下士官 同 伍長 高橋作左三門
同 上等兵 同 兵長 伊藤 作市
右頭書、通り來週々卷勤務ニ服務スヘシ
七 本 日ノ人員左ノ如シ

十月七日
上層日晴
望島國民
學校

區分	將校	准士官	下士官	兵	計
人員	四	一	一八	一〇四	一二七

一 望島中隊ハ全カヲ以テ陣地構築ヲナス

二 伊江村民、勤務兼任三名ヲ受ケ中隊、將兵ト若シ陣地構築ヲナス

三 伊江命令第六號伊江島地區隊命令受領ス

伊江島地區隊命令

一 本職儀頭二五泊六日ノ豫定ヲ以テ業務連絡班ニ軍

二 於テ實施ス

陸軍大尉 諸江 春美

本職不在間地區隊長代理ヲ命ス

長岡上等兵田代兵長上番服務ス

五 望島中隊長以下將校全員地區隊長ノ下ニ集合シ地區

隊長不在間ニ於ケル諸注意點ヲ指示ヲ受ク

六 留守中情報蒐集ヲ迅速ニスヘシ

七 對空監視ハ大隊本部ニテ設ケル外各隊毎ニ對空監視

ヲ實施セシムヘシ

八 大隊ヲ宿營セル學校ハ敵機ノ好目標ナルヲ以テ空襲ヲ

受ケル顧慮アルニ至レハ各隊ハ迅速ニ隊ニ準備シアル塔

藏部ニ疎開シ得ル如ク常時準備ヲ完了シ一兵ニ至ル

迄徹底ニ置クヘシ(各隊毎ニ迅速ナル疎開ノ

豫行ヲ實施)

九 對空射撃部隊ハ一般中隊ヨリ各一小隊各機関銃中

隊ヨリ一小隊ヲ常時準備シアルヘシ

十月八日
日曜日晴
伊江島國民
學校



射撃位置ハ敵機ニ對シ捲取ニ得ル位置ヲ豫メ選定シ	置キ不意急襲射撃ヲ實施シ之ヲ為射撃距離	ヲ左記ノ如ク定ム(對空射撃ハ彈丸ヲ以テスル空襲	ノ思想ナリ遠距離射撃ハ彈丸ヲ浪費スルノミナラ	ス効力ナシ)	左記	機関銃輕機小銃共ニ米以内ニ敵機近接シタル	場合ノミ射撃	右省略	空襲時ハ全員精壹穴又ハ豫メ準備シアル時待機ニ待	避スヘシ對空射撃部隊ト雖モ勉メテ精壹穴又ハ捲取シ	アル地形ヲ選定シ不意急襲ハ射撃ニ任スルモノトス	大木日ノ人員十五名如シ
一頭品中隊ハ全カヲ舉ケテ陣地構築ヲナマ	二伊江島村民ノ勤勞奉仕ニ一名ヲ受ケ中隊將兵ト共ニ	陣地構築ヲナシム	三伊江島村民ニ九號ノ要旨命令ヲ受領シ直ニ諸準備	ヲ整ヘ第一小隊長水野少尉以下ニ々々分隊(第三分隊)ヲ	陣地附近ニ分散疎開セシメ又中隊主力ニ對シテモ命令アラハ	迅速ニ疎開ニ得ル如ク諸準備ヲ整ヘ置カシム	四伊江島村民ニ九號伊江島地區隊命令ヲ受領シ伊江島國民學校	伊江島地區隊命令	コマリヤナ方面ニ策動ノ敵機動部隊ハ空襲スルノ計算ナリ	軍ハ南西諸島各地ニ丙戰備下令セラル		

一 地臣隊ハ沿岸部隊及對空射擊部隊ヲ配置備シ海上起
 二 對空ニ對スル警戒ヲ嚴シニ主力ヲ爾陣地附近ニ疎開
 三 嚴ニ我ヲ配備及兵力ヲ秘密ニ戰備ヲ整ヘツツ作業
 訓練ニ邁進シ乙戰備ヲ轉移ヲ準備セントス
 四 各隊ハ伊西命令第七號基テ左記現在地ニ發回直ニ
 分散ヲ實施スヘシ

左記

- 一 各隊指揮班 一 一般中隊 三分ノ一
- 二 機關銃隊 二分ノ一 四 獨立速射砲 三分ノ一
- 三 細部ニ關シテハ各隊長指示スヘシ
- 四 對空射擊部隊ハ左ノ如ク服務スヘシ
 - 一 一般中隊 一小隊 機關銃 一小隊

ルコトヲ得

- 一 各自個人裝備ヲ完備シ手榴彈ニ發射機一銃ニ付四
 八口發重機一銃ニ付四連ヲ使用シ得ル如ク準備スルヘシ
- 二 爾余ハ各隊長決定スヘシ
- 三 衛兵ハ現任務ヲ續行シ特ニ對空監視並ニ諸警
 報ニ遺憾ナカラシムヘシ
- 四 各隊ハ本日より五日迄ニ本部ニ傳令一ラ差出シ連絡ニ
 任セシムヘシ完全武裝トス
- 五 各隊長ハ燈火管制力ニ遺憾ナカラシムヘシ
- 六 各隊長ハ附近民衆ノ之ヲ指導監督ニ任スヘシ
- 七 防疫給水班ハ各隊長ト連絡シ指示元所ニ給水スヘシ
- 八 給養其他ハ從來通りトス

地區隊長代理 諸江大尉

下達法要ヲ傳別ニ命令受領者ヲ集メテ達筆記セシム
五中隊命令

- 一 敵情地區隊命令ニヨリ示サレシム通り
- 二 中隊ハ一部ヲ學校ニ殘置シ主カテ陣地附近ニ疎開シ敵機ノ來襲ニ備ヘ至嚴ナル警戒ヲアサントス
- 三 第二第三小隊ハ小隊長ノ指揮スル半小隊ヲ以テ陣地附近ニ疎開シ特ニ防空警戒ヲ嚴ナラシムヘシ
- 四 疎開セル各隊ハ特ニ軍紀風紀ヲ嚴正ナラシムルト共ニ大々隊防ニ邁全ヲ期スヘシ

中隊長 山寺中尉

下達法要ヲ集メテ達筆記セシム

大伊南作命等ニ九號ニ基テ右ノ如ク中隊命令ヲ下達シテ陣地附近ニ分隊隊員ヲシテ一五〇分ヲ充テ了ス

人員 四 一 一 八 一 〇 四 一 二 七

十月九日
月曜日晴
伊豆國民
學校

一 第一中隊ハ全カヲ以テ陣地構築ヲナス
二 第二中隊ハ尾野中尉ヲ以テ陣地構築ニ任ズル中隊長ハ三名中隊陣地附近ニ作井位置偵察ノシメ來陣ス

三 八〇の内務衛兵トシテ蜂須賀伍長以下ニ名服務ス
四 本白ノ人員左ノ如シ

區分	將校	准士官	下士官	兵	計
人員	四	一	一 一 八	一 〇 四	一 二 七

十月十日 二 中隊ハ地區隊長ノ出張前日ノ命令ニ指示ニヨリ嚴ニ

火曜日晴
伊江島

對空警戒ヲ實施シアリシカ更ニ伊西作命第二九號ヲ受領
スルヤ直ニ訓練準備入居リトコロロセヨ嘉手納及名護
方面ニ連續爆撃音ト爆彈炸烈ノ相ヲ見ル時恰ニ豫
期セル如クロセヨニ敵機來襲ス

二本戰艦ニ於ケル伊西作命第一ノ如シ

三伊西作命第二九號伊江島地區隊司令受領ス

伊江島地區隊司令

一本朝セヨニ敵機戰艦約六機朝朝本島ヲ爆撃シタル

後伊江島ヲ空襲セリ

四部隊ハ日機戰艦ヲ實施ス

五部隊ハ戰艦砲臺ニ就テ隨時戰艦開始ニ得ル如ク準備ヲ整
フルト共ニ極力完全ニ砲臺スル處置ヲ精ニシル後工事

六射撃ニ極力強薬ノ節用ニ勉ムヘシ

七各隊ハ第一次空襲ニ於ケル諸報告ヲ速ニ提出スヘシ

八水盡食ハ將當口糧乙ニシルヘシ

九爾後命令受領者ヲ常時戰艦司令所ニ差シアルヘシ

九予ハ戰艦司令所ニ在リ

地區隊長代理 諸江大尉

下達命令受領者ヲ集メテ達筆記セシム

四衛生兵安島上等兵ハ一〇〇名齋藤衛生部見習士官ト共ニ飛

行場ニ大隊ニ重リ負傷者ヲ收容シタル後一八〇名歸隊ス

五増加兵器彈藥並ニ資材トシテ左ノ如ク受領ス

小銃彈一〇四〇發 輕機彈一四六〇發

重機彈一〇〇發 手榴彈二四發 發射發煙筒二發

防衛隊用兵器及彈藥 小銃一〇 同彈藥一四六〇發

千榴彈回發、前線入り個對戰車肉薄攻撃用資材トシ
テ空ビニ四五本、ガソリン・ドラム罐一本

六本機関ニテリ得タル貴重ナル体験ヲ基礎トシ中隊長以下
益々志氣旺盛ニシテ終夜陣地構築並ニ對戰車攻
撃ノ諸準備ヲナス

七本日、人員左ノ如シ

區分	將校	准士官	下士官	兵	計
人員	四	一	一八	一〇四	一二七

十月十日
水曜日晴
伊江島

一中隊ハ終夜ニ亙リ陣地構築ヲナスト共ニ至嚴ナル對空警戒
ニ邁全ヲ期ス
ニ鈴木少尉以下四名ハ左ノ要領ニテ防衛擔任區域
ニ

の一般民心ノ動向

三本日、人員左ノ如シ

區分	將校	准士官	下士官	兵	計
人員	四	一	一八	一〇四	一二七

十月十二日
水曜日晴
伊江島

一中隊ハ至嚴ナル警戒ノ下ニ陣地構築ヲナス
ニ伊西作命第三四號伊江島地區隊命令受領ス
伊江島地區隊命令

一獨混四四林作命第五四號ニ基テ地區隊ハ飛行場ノ補修
ニ協力ス

依西各隊左記通りニ言定戰術指揮所前ニ集合スハシ

左記

第七第八第九中隊各四名第三機關銃二名獨立速射

砲三名獨立機關銃三五名工兵二名

各隊ハ先任將校ノ指揮ノ下ニ殘余ノ人員ヲ以テ警戒並ニ
作業ヲ實施スヘシ

第三機關銃ハ二銃獨立機關銃ハ四銃ヲ作業場ニ移シ
ニ對空射撃ヲ任スヘシ

地區隊長代理 諸江大尉

下達法令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

三七命令ニ基キ中隊長以下四名飛行場大隊ノ補修
作業ニ協力ス

四鈴木少尉以下殘余ノ兵力ヲ以テ警戒並ニ作業ヲ實施ス
五一四〇〇空艇機警報解除
六本日ノ人員左ノ如シ

十月十三日
全曜日晴
伊江島

一 中隊ハ至嚴ニ警戒シ下ニ陣地構築ヲテス
二 地區隊長並ニ関井中尉陣地構築指導ノタメ〇九三〇
ヨリ約三十分間ニ亘リ來陣セラル
三 一六〇〇空艇機警報發令一七〇〇同解除
四 本日ノ人員左ノ如シ

區分	將校	准士官	下士官	兵	計
人員	四	一	一八	一〇四	一二六

十月十四日
土曜日晴

一 伊西作命第三五號ヲ伊江島地區命令受領ス
伊江島地區命令
中飛行場

伊江島

一 臺灣一石垣島ニ於テ十月十日以降敵機動部隊策動
中ナリ

二 海軍航空部隊戦機連合一〇機本十四日ハ〇頃伊
江島ニ到着シ燃弾ノ補給ヲ受ケ、其臺灣方面ニ出動
スル豫定ナリ

三 地区隊ハ一部兵力ヲ飛行場ニ派遣シ飛行場ニ大隊ニ協力
燃弾ノ補給ニ任シ飛行場大隊ノ活動ヲ容易ナラシムトス

四 本部及各隊ハ特設ノ指揮スル約三分一ノ兵力ヲ速刻
飛行場ニ派遣シ燃弾ノ補給ニ協力スルシ

五 大隊機関銃中隊及獨立機関銃中隊ヨリ各一小隊ヲ對空射
撃部隊トシテ飛行場ニ派遣シ對空射撃ヲ任セシム

六 予ハ中飛行場ニ在リ

地区隊長 西村 大尉

二 石命令ニ基キ〇七〇ニ浦准尉以下三〇名飛行場ニ至ラシ
ム燃弾ノ補給實施ニ飛行場大隊ニ協力セシム

三 中隊ハ主力ヲ以テ陣地構築ヲナス

四 伊西命令第三六號伊江島地区隊命令受領ス
伊江島機関銃中隊

伊江島地区隊命令披露

一 情況近迫ニ敵ノ上陸企圖濃厚ナルモノノ如シ

二 伊江島ニ於ケル年備兵力増強ノタメ聯隊長ノ指揮ス
ル一ヶ大隊夕刻伊江島ニ到着スル筈ナリ

三 地区隊ハ一部ヲ以テ聯隊主力上陸援後衛營準備ヲ實
施セントス

四 関井中尉ハ大隊機関銃一小隊獨立機関銃一小隊及第九中
隊ノ一小隊ヲ併セ指揮シ旧波止場附近ノ對空援後衛任スルシ
各隊ハ該兵力ヲ一ヶ各止旧波止場附近ニ派遣シ関井中尉

ノ指揮ニ入ラシムヘシ
 五 中隊ノ右命令全基ヲ鈴木少尉以下ノ小隊ヲ旧波止場ニ派遣
 三 関井中尉ノ指揮ニ入ラシム
 六 本日ノ人員左ノ如シ

區分	將校	准士官	下士官	兵	計
人員	四	一	一八	一〇四	一二七

十月十五日
 日曜日晴
 伊江島

一 中隊ハ至嚴ナル警戒ノ下ニ陣地構築ヲナス
 二 伊江村民ノ勤勞奉仕六五名ヲ受ケ中隊ノ將兵ト共ニ陣地構築ヲナシム
 三 獨混五作命第六號伊江島地區隊命令受領ス 一五二五一九三
 伊江島地區隊命令受領ス

兼リ東方ニ進去中ニシテ我軍ハ之ニ對シテ戦果擴大中ナリ
 軍ハ爾今十五日一九三二兩號戰備ヲ解ク
 四 本日ノ人員左ノ如シ

區分	將校	准士官	下士官	兵	計
人員	四	一	一八	一〇四	一二七

十月十六日
 月曜日晴
 伊江島

一 中隊ハ至嚴ナル警戒ノ下ニ陣地構築ヲナス
 二 伊江村民ノ勤勞奉仕六五名ヲ受ケ中隊ノ將兵ト共ニ陣地構築ヲナシム
 三 一〇二〇警戒警戒報發令セラル
 四 一四一五空襲警戒報發令 一五三〇空襲警戒報解除
 五 獨混五作命第六號獨混隊第五聯隊命令受領ス

獨立混成第一五聯隊命令抜萃

一 第九中隊 陸軍上等兵 渡邊 透

同 同 大竹 壽明

同 同 佐藤 豊治

同 同 鈴木 勝見

命陸軍部長 (二〇三附)

大獨混一隊命第五九號伊江島地區隊命令受領之伊江島

伊江島地區隊命令

一 今般畏クモ侍從武官坪島文雄中將ヲ第三二軍、狀況實

視ノ為十月十六七日御差遣アラセラル

軍ハ右ニ伴ヒ警戒ヲ強化スル為ニ兩旅戰備ヲ下令ス

二 旅隊ハ兩旅戰備ニ移行シ對シテ對潛警戒ヲ至嚴アラシ

クモ、北海軍、對潛警戒ヲ至嚴ナラシムルト共ニ一部隊

以下對空射撃、態勢ニアラシムヘシ

四百余ノ諸隊ハ現任務ヲ履行スヘシ

五 予ハ伊江村役場ニ在リ

伊江島地區隊長 美田 大佐

下達法印刷交付

七 本日、人員左ノ如シ

區分	將校	准士官	下士官	兵	計
人員	四	一	一八	一四	二七



十月十七日
火曜日晴
一 中隊ハ至嚴ナル警戒、下ニ陸地構築ヲナス
二 露營衛兵トシテ九隊任長以下五名連頭ニ至リ版務ス

伊江島

二伊江村氏、勤勞奉仕六四名ヲ受テ中隊、特兵ト共ニ陣地構築ヲナシム

四第二大隊ハ對空射擊部隊ニ服務ス

五西作命第三八號大隊命令受領ス 仰返知シ

大隊命令

一現在通走中敵機動部隊ノ外新タナル敵機動部隊ハ所屬東方ニ至テ、窪附近ニアルモノト知シ

二大隊ハ本早朝敵ノ空襲ヲ顧慮シ特ニ對空警戒ヲ嚴テラシメントス

三各中隊ハ隊メ示シテ、對空射擊部隊ヲ連ニ配置ニ就カシムルト共ニ直ニ待避ニ得ル如ク準備シテハシ

特ニ對空監視ヲ嚴ニスルニ

四予ハ本朝山麓ニ在リ

六本日、人員在ノ如シ

區分	特務	准士官	下士官	兵	計
人員	四	一	一八	一四	二七

一、中隊ハ全カヲ以テ陣地構築ヲナス

二、西作命第三九號大隊命令受領ス

大隊命令 按革

一、敵隊(大)第二大隊從來、西村部隊配屬部隊ヲ含ムハ

新ニ伊江島地區部隊トナリ、伊江島ヲ確保ス

二、大隊ハ、檜臺南側一八ニ高地南端一伊江城山南麓ヲ經テ、高地高地ヲ含ム線ヨリ以南ノ地區ニ陣地ヲ占領セントス

十月十八日
水曜日晴
伊江島

第九中隊第一大隊ニ連繫シ伊江城山東方道路ヲ
 燈臺道路ニ至ル間ニ整固ニ陣地ヲ占領シ一部ヲ以テ第
 一大隊方面ニ火力ヲ指向シ得ル如ク準備スヘシ
 一分隊ヲ飯沼東方松林高地ニ派遣シ監視部隊ヲ
 ヲシムヘシ
 燈臺附近ニ派遣シタル夜生小隊(三分隊)一分隊附スヘシ
 本日中ニ撤退スヘシ
 第九中隊(二大隊)ハ第九中隊ト連繫シ記念碑高地
 學校周邊高地ヲ占領スヘシ
 特ニ一部ヲ以テ大井ノ附近ヲ確保スヘシ
 三石命令ニ基テ燈臺附近ノ夜生小隊(砲臺附近隊)ニ
 八河折ヲ撤退シ中隊ニ復歸ス
 四木日ノ人員五ノ如シ

十月十日
 水曜日
 伊集院

一 中隊ハ陣地構築ヲナス
 二 西作命令第四號大隊命令受領ス 一〇一七〇九三〇
水部山
 大隊命令
 一 大隊陣地ハ最も堅固ニ大規模ニ實施スヘシ
 二 特ニ左ノ件ニ留意スヘシ
 左 記
 一 各隊毎ニ速ニ彈藥集積所ヲ準備スヘシ
 二 標息格敵部ヲ速ニ完成スヘシ第九中隊右側面ハ石木
 材ヲ以テ敵陣ニ對シ最も堅固ナラシムヘシ
 三 第七第八中隊正面ハ主要道路ハ敵ヲ以テ自由使用セサ
 ル様準備シアルヘシ

四 敵隊構、對戰軍因攻挺身奇襲ヲ構築スヘシ

三 本部各隊ハ本明日中寇メテ陣地資材ヲ蒐集シ陣地附近ニ完備スニシテ爲本朝ニ於テ爲車五臺ヲ準備シ各隊ニ一臺ヲ配當各隊ハ明二十日ニシテ逆攻市場前ニ於テ受領スヘシ

四 余ハ當分、間各隊ノ陣地配備陣地構築ノ指導ヲ行フニ付適宜連絡スヘシ一、二、三、第九中隊一、二、三、四、五、六、七、八中隊一、二、三、四、五、六、七、八中隊ノ陣地構築配備ニ関シ指導ス

大隊長 西村 大尉

下達法命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム
之類ニ於テ地區隊長來陣セラレ陣地構築並ニ陣地配備ニ関シテ細部ノ指導ヲ受ク

五 西作命令第四號伊江島地區隊命令受領ス
勿江島地區隊命令

一 敵隊主力着態勢復歸ニ伴ハ大隊ハ(應)獨別隊元ノ如シニ
ハ再伊江島地區隊トナリ舊態勢ニ復歸セントス
二 各隊ハ十月一日西作命令第二七號ニ基キ戰前準備ヲ實施スヘシ

地區隊長 西村 大尉

下達法要旨ヲ傳ヘ後命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム
六 中隊ハ右命令ニ基キ直ニ戰前準備ニ着手セリ
七 本日ノ人員左ノ如シ

區分	將校	准士官	下士官	兵	計
人員	四	一	一八	一四四	一七七



十月十日
金曜日晴
伊江島

一 預備中隊ハ全カヲ以テ陣地構築ヲナス
二 伊江村民、勤勞奉仕三名ヲ受ケ中隊將兵ト共ニ陣地構築ヲナス
三 八〇〇露營衛兵トシテ頭田量南以下五名服務ス
四 第三小隊對空射擊部隊トシテ服務ス
五 本日ノ人員左ノ如シ

區分	將校	准士官	下士官	兵	計
人員	四	一	一八	一四四	一六七

十月十日
上曜日晴
伊江島

伊江島地區隊命令

一 在支米空軍ハ比島方面機動部隊ト呼應ニ二十日臺灣及本土ノ爆撃ヲ企圖シ各基地ニ於テ準備セルモノノ如シ
二 地區隊ハ對空警戒ヲ嚴テラシムントス
三 對空射擊部隊ハ直ニ應ジ得ル如ク又各隊ハ待避シ得ル如ク準備シアルヘシ
四 井上少尉ハ明二十日以降工兵小隊ノ約半小隊ヲ以テ營分ノ間第九中隊左小隊陣地構築ニ協力スヘシ
五 各隊彈藥掩蔽處置ニ関シ地區隊長ノ指示ヲ受クヘシ
六 九〇〇迄ニ報告スヘシ
七 明二十日伊江城山前面ノ防禦戰闘ニ関シ地區隊長

統裁ノ下ニ幹部教育ヲ實施ス
依而左記ノモノハ口述ニ伊江城山南麓ニ又路ニ
集合スヘシ

左記

〇第七中隊長 第九中隊長 獨立機関銃隊長
獨立速射砲隊長

〇第七第九獨機備連各中隊長 關係分隊長以上全員

地區隊長 兩村 大尉

下達法令受領者ヲ集メ口述筆記セシム

四二三三〇警戒警報發令セラル

五本日ノ人員左ノ如シ

區分	特務	准士官	下士官	兵	計
人員	四	一	一八	一〇四	一二七

十月十日
日曜日
伊江島

一 〇七〇中隊ハ重嚴ナル警戒ノ下ニ陣地構築ヲナス

二 伊江村民 勤務係任五三名ヲ受テ中隊將兵ト共ニ陣
地構築ヲナス

三 〇七〇地區隊長統裁ノ下ニ行ハレタル幹部教育ニ
中隊長以下一一名参加ス

四 〇四〇地區隊長陣地構築指導ノタメ來陣セラル

五 西作命令第四三號伊江島地區隊命令受領ス 伊江島
伊江島地區隊命令

一 燈臺附近ニ於ケルガソリニ戦法ノ研究演習ヲ十一月
初旬ニ實施スル豫定ニシテ左記ノ如ク之ヲ準備ス

二 研究委員ヲ命ス

左記

委員長 諸江 大尉

委 員 関 井 中 尉
 同 山 寺 中 尉
 同 萩 生 中 尉
 同 田 中 中 尉
 同 井 上 少 尉
 山前項委員の研究、議題同研究議題ノ一案ヲ本月
 二十八日迄ニ調製シ地區隊長ニ提呈スヘシ
 萩生中尉ハ議題ニ基キ本月二十九日ヨリ三十一日ニ亙
 ル三日間ニ部下小隊ヲ以テ之カ實施準備ヲ完了スヘシ
 高前項委員ハ部下兵員ヲ以テ材料調製準備ニ関
 シテ積極的ニ援助スヘシ
 地區隊長 西村大尉
 不道法命令受領者ヲ其ハ口達筆記セシム

人員	四	一	一	一	一	一	一
	四	一	一	一	一	一	一
	四	一	一	一	一	一	一
	四	一	一	一	一	一	一
	四	一	一	一	一	一	一
	四	一	一	一	一	一	一
	四	一	一	一	一	一	一
	四	一	一	一	一	一	一
	四	一	一	一	一	一	一
	四	一	一	一	一	一	一

十月五日
 月曜
 伊止島

一 四〇〇名中隊ハ至嚴テ警戒ノ下ニ陣地構築ヲナス
 二 第二小隊ハ對空射撃部隊ニ服務ス
 三 一〇〇名警備兵トシテ高橋任長以下五名服務ス
 四 四〇〇名 林團長陣地視察スルニ來存セラレ中隊長之ニ立會ス
 五 四〇〇名 林團長陣地視察スルニ來存セラレ中隊長之ニ立會ス
 六 二夜生中尉出席ス
 六 本日の人員左ノ如シ

區分	中尉	准士官	下士官	兵	計
人員	四	一	一	一	一
	四	一	一	一	一
	四	一	一	一	一
	四	一	一	一	一
	四	一	一	一	一
	四	一	一	一	一
	四	一	一	一	一
	四	一	一	一	一
	四	一	一	一	一



十月二十日
火曜
作江島

一 頭目 中隊へ至嚴十九警戒、下二陣地構築ヲナス
二 本日、人員左、如シ

區分	特	技	准士官	下士官	兵	計
人員	四	一	一	八	一〇四	一二七

十月二十日
水曜
作江島

一 頭目 地區隊長陣地視察セラル
二 頭目 中隊長以下特技全員地區隊長、下二至リ
三 頭目 中隊長以下特技全員地區隊長、下二至リ
四 作江村民、勤勞奉仕之三名ヲ受ケ中隊長ト共ニ陣地
構築ヲナス
五 陣地構築ヲナス

一 西都地區ハ本日九三五空襲警戒隊令スル
二 地區隊長對空警戒ヲ嚴ニシ陣地構築作業ヲ續行セシトス
三 各隊ハ宿舍内ニアル兵器資材被服共ニ他物資、分散
疎開ヲ實施シ所要、警戒兵ヲ附スヘシ
四 本部及各隊ハ對空監視ヲ嚴ニシ作業中敵機ノ空襲
アルモ迅速ニ疎開シ得ル如ク豫行演習ヲ實施スヘシ
五 高瀬メ指示シアル對空射撃部隊ヲ專ニ配置シ就クニシ
五 予ハ作江城山麓ニ在リ

地區隊長 西村大尉

一 下達命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム
二 六中隊長ハ直ニ各小隊長ヲ招致シ石命令ヲ傳達スルト共
ニ所要準備ヲナシメタル後、敵機來襲ノ情況ヲ與ヘ
指揮班第百三小隊、順序ニ豫行演習ヲ實施ス

七月三日警戒成警報解除ス

八本日、人員左ノ如シ

区分	將校	准士官	下士官	兵	計
人員	四	一	一八	一〇四	一二七

十月二十七日 一 翌日 中隊ハ全カヲ以テ陣地構築ヲナス

水曜日 晴 二 伊江村民ノ勤勞奉仕五七名ヲ受ケテ中隊將兵ト共ニ陣地

伊江島 構築ヲナサシム

三 〇八〇露營將兵トニテ齋藤軍曹以下五名服務ス

四 翌日 訓練カソリニ戦術研究委員、カソリニ戦法ノ研究員ニ

打合せ、トシテ中隊長ヲ三校生中尉ト去席ス

五 水曜日 人員左ノ如シ

十月二十七日 一 翌日 中隊ハ全カヲ以テ陣地構築ヲナス

全曜日 晴 二 伊江村民ノ勤勞奉仕六〇名ヲ受ケテ中隊將兵ト共

伊江島 二 陣地構築ヲナサシム

三 敵飛行機、識別參考表配布セラレシニ依リ教育ヲナス

四 本日、人員左ノ如シ

区分	將校	准士官	下士官	兵	計
人員	四	一	一八	一〇四	一二七

十月二十七日 二 中隊ハ午前午後共武器被服ノ手入れニ陣地構築用器

土曜日 晴 材ノ補修整備ヲナス

二中队命令

一

陸軍二等兵 水間 備

同 宮下 房治

同 山口 勝雄

同 根本 三郎

同 古山 久夫

命陸軍一等兵 (十月二十八日附)

三水日ノ人員左ノ如シ

區分	陸軍一等兵	陸軍二等兵	計
人員	四	一八	二二

四水日ノ人員左ノ如シ

區分	陸軍一等兵	陸軍二等兵	計
人員	四	一八	二二

十月二十日 一 陸軍一等兵 中隊へ全力ヲ以テ陣地構築ヲナス
 月曜日晴 六 伊江村民ノ勤勞奉仕五名ヲ受テ中隊將兵ト共ニ
 陣地構築ヲナス

三 西日命第七二號伊江島地區隊命令受領ス 伊江島

四 日直駐三巡察將校左ノ通り服務スヘシ

月日	日直將校	巡察將校
十月一日	関井 中尉	鈴木(清)少尉

火曜日
伊江島

二伊江村民、勤勞奉仕、口名ヲ受ケ、中隊將兵ト共ニ陣地
構築ヲナシム

三西小命第四號伊江島地區隊命令受領ス 伊江島

四二三間兵隊燈臺附近ニ於テ夜生中隊指導、下ニカリ
リニ戰法研究演習ヲ實施ス

依而各隊ハ左記人員ヲ明十月一日ヨリ、從場前ニ集合
セシムルニ

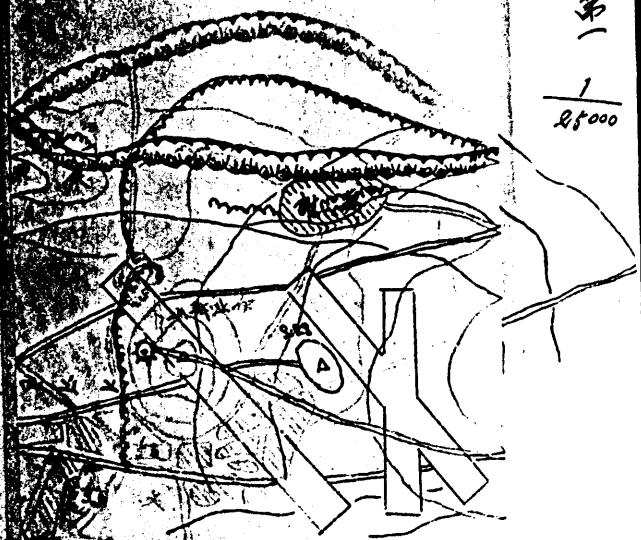
左記

第七中隊下士官一、第八中隊兵二、第九中隊兵二、第三機
関銃中隊兵二、聯隊砲中隊兵一、獨立機關銃中隊兵一
獨立連射砲中隊兵一、工兵小隊兵一
第七中隊下士官八、右人員並ニ經理室ヨリ馬車一ヲ受

四水日ノ人員左ノ如シ

人員	中隊	將校	准士官	下士官	兵	計
十月二日	山寺	中尉			川上少尉	
十月三日	竹田	中尉			山田少尉	
十月四日	高橋	中尉			工藤中尉	
十月五日	諸江	大尉			鈴木(利)少尉	
十月七日	小川	中尉			向山准尉	
十月八日	山寺	中尉			山下少尉	
十月九日	竹田	中尉			田澤准尉	
十月十日	高橋	中尉			栗石少尉	
					河合中尉	

第九中隊



附圖第一

1/25000

領ノ上引率ヨリヨ止燈臺ニ至リ夜生中尉ノ指揮下
ニ入ルヘシ

服裝ハ軍裝ニシテ背囊ヲ除ク

朔一日晝食ヨリ夜生小隊ノ給養ヲ受クヘシ

地區隊長代理諸江大尉

下連法各隊命令受領者ヲ集メテ口達筆記セシム

四西日命第七三號伊江島地區隊命令受領ス伊江島

伊江島地區隊命令拔萃

陸軍一等兵 中山 猛

中隊復歸ヲ命ス

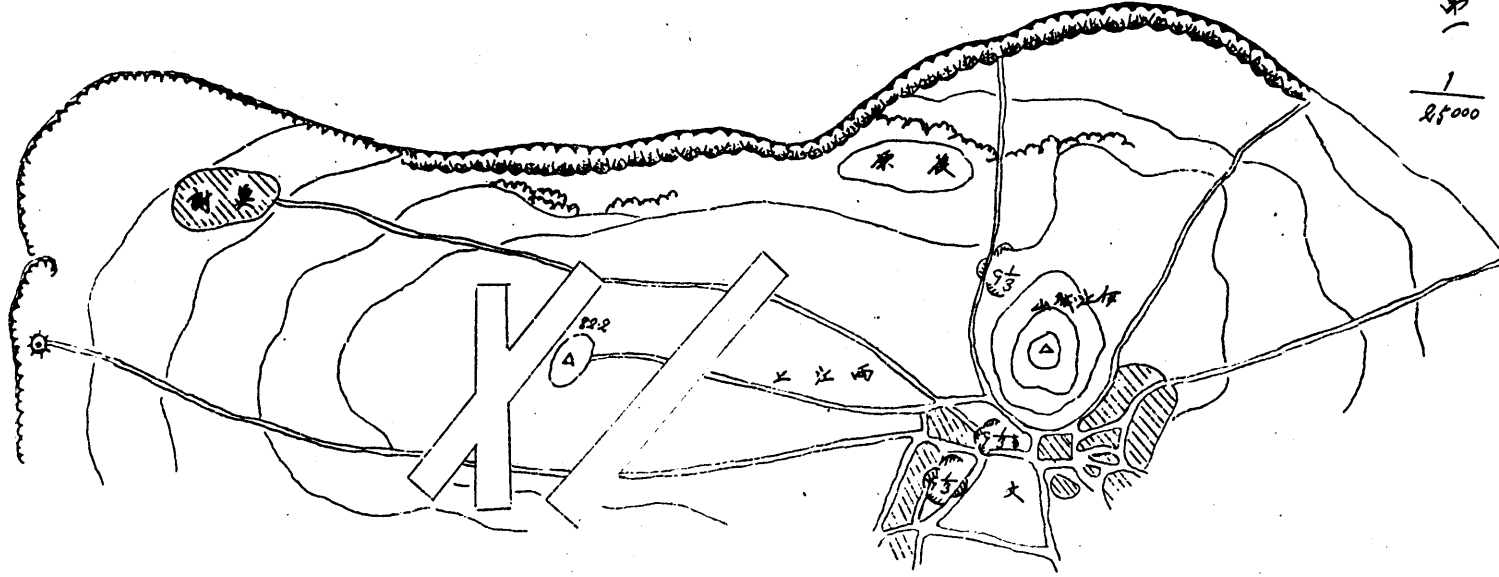
五本日ノ人員左ノ如シ

區分	隊長	下士官	兵	計
人員	1	1	15	17
隊員	1	1	15	17

第九隊配備要圖

附圖第一

1/25000



任江島地區隊命令拔萃			
陸軍一等兵 中山 猛			
中隊復歸ヲ命ス			
五本口、人員左ノ如シ			
人員	區分	階級	准士官
四	一	一	一
	八		下士官
	一	五	兵
	二	八	計

任江島地區隊命令拔萃